

## 第10回東北フットサルリーグ開催要項

1. 名 称 第10回東北フットサルリーグ
2. 主 催 東北フットサル連盟
3. 主 管 各県フットサル連盟、東北フットサルリーグ実行委員会
4. 後 援 東北サッカー協会フットサル委員会
5. 協 賛 株式会社ウインスポーツ (PENALTY)
6. 期 日 1部 2012年5月20日～12月9日  
2部北 2012年5月19日～10月21日  
2部南 2012年5月19日～10月21日
7. 会 場 東北各県会場
8. 表 彰 優勝・準優勝・第3位チームに表彰状を授与する。  
優勝チームは、第13回地域チャンピオンズリーグ(2013年2月22日～24日、スカイホール豊田(愛知県豊田市)、岐阜メモリアルセンター(岐阜市)、オーシャンアリーナ(最終日))の出場の義務を負う。
9. 出場資格
  - [1] 2012年度(公財)日本サッカー協会のフットサル個人登録を行った16歳以上(但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。)の選手により構成されたチームであること。
  - [2] 第1項のチームに登録された選手であること。
  - [3] 第1項に定めるチームには、1チームあたり4名までの外国籍選手の登録を認める。但し、試合中同時にピッチ内に2名を越えて出場してはならない。
  - [4] 女性の登録(出場)を認める。
  - [5] チームを構成する選手の過半数以上が、所属県在住、在勤又は在学のいずれかであること。また、その選手及びチームは他地域・都道府県リーグに登録及び出場していないこと。
  - [6] 2012年度(公財)日本サッカー協会発行のフットサル個人登録証を持参していること。
  - [7] 出場チームは、各県協会又は各県連盟から東北リーグ出場承認を受けたチームであること。
  - [8] 参加選手は、傷害保険(スポーツ保険)に加入していること。
10. ユニフォーム
  - [1] リーグ登録票に記載されたものを着用し、登録後の変更は認めない。
  - [2] ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、色が異なる2種類のユニフォームを準備し、携行すること。ゴールキーパー(以下「GK」という。)に関しても、フィールドプレイヤー(以下「FP」という。)と異なる色のユニフォーム(シャツ・ショーツ又はトラウザー・ストッキング)を準備すること。
  - [3] ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき、承認を得た場合にのみこれを認める。試合当日は必ず承認書(原本)を携行すること。
  - [4] 審判と同一又は類似のシャツは用いることができない。ゴールキーパーについても同様である。
  - [5] ゴールキーパーに関しトラウザーの着用を認め、リーグ登録票に記載された色のトラウザーを着用すること。
  - [6] 各チーム、ユニフォームと異なる色のビブス(2セット)を準備し、毎試合携行すること。
11. 競技規則
  - [1] 2012年度(公財)日本サッカー協会制定「フットサル競技規則」及びリーグ運営委員会の決定事項による。
  - [2] 本リーグで退場を命ぜられた選手は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については、東北サッカ

一協会規律・フェアプレー委員会に諮り、決定する。

- [3] 本リーグで警告を3回（2部北は、2回）受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- [4] 競技時間は、前・後半各20分（ハーフタイム10分）のプレーイングタイムとする。
- [5] ピッチサイズは、原則として縦40m×横20mとする。
- [6] 使用球は、**（公財）**日本サッカー協会認定のフットサル用ボールとする。
- [7] シューズは、靴底の**接地面**が飴色又は白色のフットサルシューズを用い、スパイク及び靴底が着色されているもの**（ノンマーキング表示があるものを含む。）**は使用できない。
- [8] GKのシャツは、FPとしてプレーしていた競技者がGKとしてプレーする場合には、GKのシャツと同色・同デザインであることとし、試合前のマッチコーディネーションミーティングにおいて承認された場合に限り着用を認める。また、当該競技者が着用するGKのシャツにはその競技者自身の背番号を付けなければならない。
- [9] ベンチ入りの人数は、スターティングメンバーを含め16名（役員4名・選手12名）を上限とする。
- [10] 各チームは、リーグ登録票（写。選手変更登録票（写）を含む。）、フットサル個人登録証（顔写真付き。仮選手証での出場は認めない。）、及びユニフォーム広告掲示承認書（原本）を毎試合必ず携行すること。持参しない場合は出場を認めない。

## 1.2. 競技方法

- [1] 1部リーグは8チームによる2回戦総当りのリーグ戦、2部北は4チームによる3回戦総当りのリーグ戦、2部南リーグは6チームによる2回戦総当りのリーグ戦とする。
- [2] リーグ戦における勝ち点は、勝ち／3点、引き分け／1点、負け／0点とする。
- [3] リーグ戦における順位は、次の方法で決定する。
  - ① 勝ち点
  - ② 当該チーム間の対戦成績
  - ③ 当該チーム間の得失点差
  - ④ 当該チーム間の総得点数
  - ⑤ リーグ内での総得失点差
  - ⑥ リーグ内での総得点数
  - ⑦ 警告・退場のスコアがより少ないチーム
    - イエローカード1枚：1ポイント
    - イエローカード2枚によるレッドカード1枚：3P
    - レッドカード1枚：3P
    - イエローカード1枚に続くレッドカード1枚：4P
  - ⑧ 抽選

## 1.3. 登録申込

- [1] 登録人数は、1チームあたり**選手24名を上限（役員の登録は制限なし。ただし、役員がベンチ入りできる人数は4人までとする。）**とする。
- [2] 登録申込は、リーグ登録票の原本（各県協会又は各県連盟の公印付き）を、平成24年5月11日（金）までにリーグ事務局へ提出すること。
- [3] 選手追加登録、抹消等については、平成18年6月7日付け日フ連第85号日本フットサル連盟会長通知に基づく書類をリーグ事務局に提出すること。（通知及び様式等は別添参照）

## 1.4. リーグ登録料

- [1] リーグ登録料（東北フットサル連盟加盟料25,000円含む。その他日本フットサル連盟個人登録料（1人2,000円）は後日、別途徴収する。）は、1部-300,000円、2部北・南-270,000円とする。
- [2] リーグ登録料は、平成24年5月11日（金）までに下記東北フットサル連盟口座に振り込むこと。

振込先	秋田銀行 秋田市役所支店
口座番号	普通 1008083
口座名義	東北フットサル連盟 理事長 夏井 浩（なつひ ひろし）

15. 審判 東北サッカー協会審判委員会より派遣する。

16. リーグ規則

- [1] リーグ規則に違反し、又はその他不都合な行為があった場合は、東北フットサル連盟理事会に図りその処分を決定する。
- [2] 新年度のチーム編成について、リーグ開催期間を通じ、前年度のチーム構成（選手登録）から半数以上の変更は原則として認めない。諸事情により変更する場合は、東北フットサル連盟に対しその旨を書面にて説明し、承認を得てから出場を認める。
- [3] チームの統合については、当リーグ所属チーム同士の合併は認めない。また、各県リーグ所属チームとの合併については、東北リーグ所属チームが母体となる事が前提で、〔2〕の規定に則っていることを原則とする。
- [4] 試合開始時間5分前に出場選手は審判からのメンバーチェックを受けることとし、メンバーチェックが遅れる選手はあらかじめメンバー表に記載し、準備が出来次第、第3審判にメンバーチェックを受けてから出場可能とする。
- [5] 〔4〕のメンバーチェック時点で、チームの選手が5人に満たない場合は、当該試合を没収し、当該チームの勝点を-5（得点を0対5の不戦敗）扱いとする。
- [6] マッチコーディネーションミーティングを、試合開始1時間30分前（第1試合は、試合開始1時間前。）に行う。マッチコーディネーションミーティングの遅刻は、試合開始時刻 60分前までに行えば試合を行うことが出来る。ただし、その試合に勝利しても、勝点は2点 引分は0点 負けは-1点とする。
- [7] 〔6〕において、マッチコーディネーションミーティングを試合開始時刻 60分前まで行うことができなかつた場合は、当該試合を没収し、当該チームの勝点を-5（得点を0対5の不戦敗）扱いとする。ただし、自然災害、交通事故等の不測の事態による遅刻については、マッチコミッショナーの裁定により、催行又は延期等を判断することができる。
- [8] ベンチ入り役員は4名までとし、4名に満たない場合は当日試合に出場しない登録選手を役員としてベンチ入りさせることができる。
- [9] 会場担当チームは、当日の会場設営・運営・撤収まで責任を持って行う。
- [10] ごみは、すべて各チームで持ち帰ること。
- [11] 各会場の利用規則を遵守すること。
- [12] リーグ中における競技者の事故については、チーム側で一切の責任を負うものとする。
- [13] 試合中における会場破損等については、リーグが加入する総合賠償保険にて対応するものとする。